



## 危険

# プラスチック以外のものを プラスチックごみに混ぜないでください



近年、市内で回収したプラスチックごみに電池が混入していたことから、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会指定処理施設で資源化処理中に発火する事故が多発しています。プラスチックごみを出す際には、以下のことに気をつけてください。

### 正しい分別・きれいに洗って水切りを

資源化には分別の徹底が重要です。プラスチック製品でも、金属、木、ゴムなどとの複合製品は資源化処理の支障となるので、燃やさないごみで出してください。

また、容器の汚れや食べ残しなどは洗い流し、水を切ってから出してください。汚れが落ちないものについても、燃やさないごみで出してください。

### 危険物の混入に注意

刃物、注射針、乾電池、ライター、スプレー缶などは、絶対に混入させないでください。収集員のけがや収集車両、処理施設等で火災や爆発事故を起こす可能性があるため非常に危険です。

また、外装フィルムがプラスチックのため、♻️マークの表示があるスプレー缶がプラスチックごみに混入しているケースが増えています。「火気厳禁」等の表記があるものは、必ずスプレー缶としてお出しく下さい。

### プラスチックごみで出せるもの(例)

- ・ボトル容器・チューブ容器
- ・プラスチック製カップ・麺容器
- ・トレイ類・弁当容器
- ・ラップ、レジ袋
- ・食品・お菓子・シャンプーなどの袋
- ・その他、100%プラスチックできているもの



### × プラスチックごみで出せないもの(例)

燃やさないごみの日に出してください



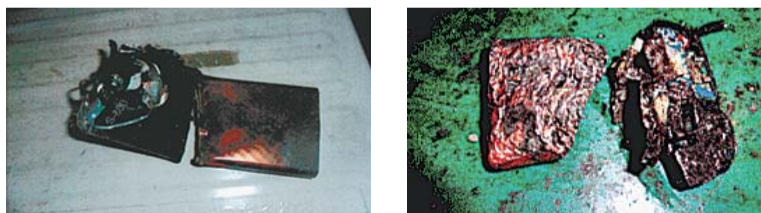
## 危険

### 有害ごみの分別の徹底をお願いします

電池・蛍光管・水銀血圧計・水銀体温計・電球型蛍光管などの水銀製品やライターは、有害ごみです。プラスチックごみや燃やさないごみなどの中に絶対に混入させないでください。水銀製品が混入すると、処理施設の運転が停止して、処理が滞る可能性があります。また、電池やライターは、収集車両や処理施設等での火災や爆発事故を起こす可能性があるため非常に危険です。

多くの充電式の製品にはリチウムイオン電池が内蔵されています。ごみを出す際には、電池が入っていないか必ず確認してください。分別方法等でご不明な点がありましたら、ごみ対策課までお問い合わせください。

### 市内で回収したプラスチックごみに混入され、発火した電池類



令和元年度の発火事故	
上半期	4件
下半期	4件
令和2年度の発火事故	
上半期	8件
下半期	

下半期は発火事故0件を目指しましょう

### 【リチウムイオン電池が内蔵されている代表的なもの】

加熱式たばこ、スマートフォン、モバイルバッテリー、電気シェーバー、電動歯ブラシ等

### 有害ごみの日に出してください



### × 市で回収できないもの

ボタン電池・充電電池(リチウムイオン電池・ニカド電池・ニッケル電池等)は、市では回収できません。回収を行っている販売店にお持ちください。詳しくは、ごみ・リサイクルカレンダー(P15)でご確認ください。

